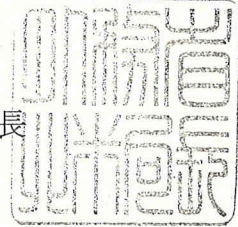


北米地合第 1423 号

平成28年12月16日

山口県知事 村岡 嗣 政 殿

外務省北米局長



岩国基地配備機の安心・安全対策の取組について（回答）

平素から、岩国飛行場の安定的使用に対する御理解と御協力をいただき、感謝申し上げます。

平成28年（2016年）12月13日付け平28基地対策第29号及び平28基地第111号により照会のあった標記について、下記のとおり回答します。

記

1 について

我が国における米軍機の運用に際して、米軍は全く自由に飛行訓練等を行ってよいわけではなく、我が国の公共の安全に妥当な考慮を払って活動すべきことは言うまでもありません。

政府としてはこれまでも、安全性を最大限確保し、地元住民に与える影響を最小限にするよう、米国政府に申入れを行ってきており、今般発生した事故に対する対応を含め、引き続き、機会を捉えて申し入れていく考えです。

外務省としましては、今後、地元の皆様の安心・安全を確保すべく、適時・適切な情報収集と地元への説明に一層力を入れて取り組んでまいります。

2 について

日本国内で発生した公共の安全等に影響を及ぼすおそれのある事件・事故については、平成9年3月の日米合同委員会合意により通報経路が確立されており、実際にこれに基づいて米側から通報がなされています。

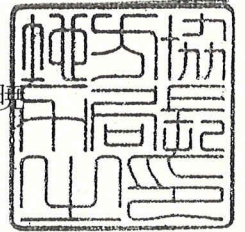
また、先般のF-35Bの事故を受け、米側に対しては、原因及び再発防止策について早期の情報提供を求めるとともに、今後、日本国外で発生した米軍機の事故であっても、日本国内において特に関心を集めそうな重大事故等が発生した場合には、迅速に、かつ、積極的に情報提供を行うよう要請したところであり、引き続き、機会を捉えて問題提起してまいります。



防地地第20879号
28.12.16

山口県知事 村岡 嗣政 殿

防衛省地方協力局長 深山 延暁



岩国基地配備機の安心・安全対策の取組について（回答）

日頃から、岩国飛行場の安定的使用に対するご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

平28基地対策第29号及び平28基地第111号（平成28年12月13日）により照会された標記について、下記のとおり回答します。

記

1 について

我が国における米軍機の運用に際して、米軍は全く自由に飛行訓練等を行ってよいわけではなく、我が国の公共の安全に妥当な考慮を払って活動すべきことは言うまでもありません。

防衛省としてはこれまでも、安全性を最大限確保し、地元住民に与える影響を最小限にするよう、米側に申し入れを行ってきており、今般発生した事故に対する対応を含め、引き続き、申し入れていく必要があると考えています。

また、岩国基地に配備されている航空機の事故が発生した場合には、米側に対し、原因究明と再発防止を申し入れるとともに、迅速な情報提供を求め、必要な情報が得られた場合には、適切な形で地元に対し説明してまいりたい考えです。

2 について

在日米軍に関わる事件・事故の通報体制については、平成9年3月31日の日米合同委員会において、「在日米軍に関わる事件・事故通報体制」が合意されており、国内において米軍機の事故が発生した場合には、米側から日本政府に通報することとされています。

防衛省としては、米側に対して、迅速な情報提供を求めるとともに、関係自治体等への迅速な情報提供に努めてまいります。

国外における米軍機の事故についても、地元の皆様の関心の高い事案については、引き続き、米側に対し、迅速な情報提供を申し入れてまいります。